

北海道読書推進運動協議会

# 北読進協だより

第14号



小平町「おはなし会」

## 特集 子ども読書ア・ラ・カルト 2007

子ども読書の先駆者、全国表彰を受賞 平成18年度野間読書推進賞	1
(財)伊藤忠記念財団「子ども文庫助成事業」	1
2007・第49回「こどもの読書週間」	2
文部科学省「新学校図書館図書整備5ヵ年計画」を策定	5
子どもの読書活動優秀実践図書館・団体文部科学大臣表彰	6

# 子ども読書ア・ラ・カルト

## 子ども読書の先駆者、全国表彰を受賞

平成18年度野間読書推進賞奨励賞を恵庭市の「えにわゆりかご会」が受賞

第36回を迎えた平成18年度の野間読書推進賞に恵庭市のボランティアグループ「えにわゆりかご会」が奨励賞を受賞し表彰されました。

恵庭市は、全国に先駆けてブックスタート事業を始めるなど（杉並区に続いて全国2番目）子どもの読書活動に力を入れる自治体として今や全国的にも有名になっています。

「えにわゆりかご会」は、ブックスタートの運営に欠かせない読み聞かせボランティアや、事業の継続を市民の立場から行政に訴える活動など、市内の数多くのボランティア団体の中心となって、市立図書館をはじめとする自治体関係者と共に数々の課題に取り組み、現在の協業関係を築き上げてきた点においても、その先駆的な活動が高く評価されました。

北海道からの受賞は平成12年の根室市の親子読書会「一休さん」が同じく奨励賞を受賞して以来6年ぶりの受賞となりました。

# 子ども読書ア・ラ・カルト

## （財）伊藤忠記念財団「子ども文庫助成事業」現在、募集中！

図書館と共に、戦後の日本における子どもの読書活動で大きな役割を果たしたのが、地域や家庭における文庫活動です。

伊藤忠記念財団では、青少年の健全な育成を目的にこの日本独特の文庫に対する助成制度を設けて民間の立場での読書推進を応援してきました。

助成事業も今年で33回目となり、従来の文庫に対する図書購入費用助成の他に、現在では、「子どもの読書活動」の推進に合わせて、読み聞かせボランティア等に100冊ずつ小学生向けの図書を贈る事業も始められています。

現在、平成19年度分の募集が行われていますが、昨年、平成18年度に助成を受けた北海道の団体をご紹介します。

- 子どもの本購入費助成団体（4 団体）  
 倶知安町・樺山みどりの文庫  
 江別市・日本キリスト教団野幌教会わかば町文庫  
 鷹栖町・どんぐり文庫  
 名寄市・名寄本よみ聞かせ会
  
- 子どもの本 100 冊助成（1 団体）  
 <小学生低学年向け> 知内町・ライラックの会  
 <小学生中学年向け> <小学生高学年向け> なし

#### コミュニティの再生と地域文庫

石井桃子さんの「子どもの図書館」に影響を受けて全国各地で誕生した「文庫」は、昭和 40 年代を中心に、旺盛な子どもたちの読書ニーズを引き出し、それまでは少数派だった地域図書館が主流となる現在の公立図書館の下地ともなったものです。

一方で、文庫は、読書や子どもに関心のあるお手伝いのお母さん方が集まる場でもあり、本の貸出しのほかにも、読み聞かせや工作会、夏休み、クリスマスなどの季節の行事も取り入れるなど、どの子どもも楽しんで参加できるぬくもりが感じられるコミュニティの場ともなっていました。

昨今、地域における「子どもの居場所」がクローズアップされ、その居場所の一つに図書館が挙げられるようになってきましたが、「文庫」はコミュニティ型の図書館活動の原点といえるかもしれません。

## 子ども読書ア・ラ・カルト

### 今年も、2007・第 49 回「こどもの読書週間」

各地でさまざまなイベントが開催されました

社団法人読書推進運動協議会が主催し、今年で 49 回目を迎える「こどもの読書週間」が 4 月 23 日から 5 月 12 日にかけて、全国各地で開催され、北海道においても各地で楽しく読書に親しむさまざまな楽しいイベントが開催されました。

社団法人読書運動協議会と北海道読書推進運動協議会では、毎年この期間に開催された各市町村の実施状況を集計していますが、とびきりユニークな取り組みを、ほんの一部紹介しましょう。

#### ○ 楽しくシゴトを学ぼう！「図書館こどもワーク・フェスタ」開催

稚内市立図書館では、3月29日から5月31日まで「あしたをつかめ！～なりたい！未来の仕事ガイド～」と題して、さまざまな仕事の本を集めた企画展示を開催しました。

さらに、こどもの読書週間最終日の5月12日には、子ども達が実際に働いて、給料をもらい、ショッピングを楽しむイベント「図書館こどもワーク・フェスタ」を開催しました。

開催当日、図書館の多目的ホールには、さまざまなお店が立ち並びました。参加する子ども達は、まず銀行で通貨100ライブをサービスでもらってショッピングに出掛けます。途中、お金が無くなったら、「ハローワーク」で仕事を紹介してもらいながら、さまざまな「仕事」を体験することができます。

幼稚園では、小さな子に絵本を読んであげたり、遊んであげる「仕事」をしてお給料をもらいます。中には「回転菓子(すし?)」店や「ネイルサロン」、「カフェ」、「おりがみブティック」などもあり、親子連れなどたくさん子ども達が、さまざまなお店で「仕事」したり楽しんだりして、楽しい時間を過ごしました。

#### ○ 小学生ボランティアによる読み聞かせ会を開催

昨年度、平成18年度の文部科学大臣表彰を受賞した網走管内の湧別町図書館では、小学生が自ら企画から運営まで手がけるユニークな読み聞かせ会を開催しました。

平成14年にはじまり今回で5回目を迎えるこの『おはなしブックキャラバン 絵本読み聞かせ会』には、小学校2年生から5年生まで、初参加の6人を加えた11人の小学生ボランティアが参加しました。

童話「おばけまほうにかかる」など5つの読み聞かせに加えて、誰もが知っている浦島太郎や白雪姫を題材にしたクイズや紙芝居など、多彩なプログラムが組まれました。今回のブックキャラバンでは、毎年参加する5年生3人が初めてパネルシアターに挑戦するなど大活躍し、訪れた約40名の親子連れは歓声を上げながら楽しい一時を過ごしました。

## ○ クイズ・クイズ・食い・・・？

子どもたちに変わらぬ人気のキャラクターや大好きなクイズを利用したイベントが網走管内で開かれました。

網走管内の**小清水町**では、図書館の本に親しみ、たくさんの本を読んでもらおうと、ドラえもんや虫の名前、小学生に人気の「かいけつゾロリ」に関するクイズ出題し、町立図書館の中で解いてもらおうというイベント「としよかん探検クイズ」を開きました。

また、同じ管内の**置戸町**でも全戸配布のお知らせ紙上で小学生向けのクイズを出題しました。ただし、答えは次号を待て、とのこと。

また、**遠軽町生田原図書館**では、読み聞かせや工作会、映画上映など盛りだくさんな春の図書館まつりが開かれました。今年は、「まつり」ということで、初めてもちつきを行い、小学生など地域の子ども達 60 人は、食べて、読んで、と楽しい一日を過ごしました。

## ○ 読み聞かせボランティア大集合

季節型ふれあい動物園「どうぶつらんど」のオープン記念イベントに合わせ、動物の絵本を満載した移動図書館車を出動させるなど、アイデアあふれる行事が魅力の**滝川市図書館**が、今年は「ゆかいな ゆかいな おはなしのたまてばこ」と銘打ち、市内のさまざまなボランティアが多数参加する読み聞かせイベントを開催しました。

普段は、それぞれの地域の小学校で活躍する三つの小学校の図書ボランティアが一同に会し、また、短期大学の絵本研究会の学生ボランティアや、人形劇サークルなど普段はあまり顔を合わせる機会が少ない、ボランティアが一時に顔を合わせる実に贅沢なイベントとなりました。

中には、大型紙芝居と琴の演奏の異色コラボレーションによる「たべられたやまんば」や、絵本とギター演奏の掛け合いなど、普段は見られない珍しい取り合わせにたくさんの拍手が寄せられました。

当日は、総勢 44 名のボランティアに図書館職員も加わっての熱演に、会場に詰め掛けた 233 名もの親子連れは魅了されました。



# 子ども読書ア・ラ・カルト

## 学校の図書室が変わる

### 文部科学省「新学校図書館図書整備5ヵ年計画」を策定

平成13年12月に「子どもの読書活動推進法」の公布・施行を受けて、文部科学省では、読書推進計画の策定と施策により、学校、地域、家庭のそれぞれにおける子どもの読書活動の推進を積極的に進めています。

中でも、長く停滞した状態が続いていた学校における読書環境の改善には、平成14年から始まった「学校図書館図書整備5ヵ年計画」によって、12学級以上の小学校に対する司書教諭の配置や5年間総額650億円にも上る図書整備費の補助の増額によって大幅な改善が図られると共に、読書への関心が広がる効果が全国的に見られました。

今回、平成19年度から新たに始まる5ヵ年計画では、前を上回る1,000億円の図書整備費が盛り込まれ、全国平均では未だ40%以下に止まる学校図書室の「図書標準」の達成を目指すと共に、新たに情報が古くて「廃棄される図書を更新するため」という図書の更新をその目的に加えたことが大きなポイントとなっています。その割合は、図書標準達成のための図書増加分が40%、更新冊数分が60%となっています。

前回の5ヵ年計画における北海道の状況は、石狩管内など大都市圏で司書教諭の配置など整備が進んだ反面、小規模校を多く抱える地方域においては、多くの市町村において交付税措置された図書整備費が本来の図書購入費の増額に結びつかないなどの課題を残しているだけに、今回の5ヵ年計画を学校の読書環境の改善に結びつけられることが期待されています。

(参考資料 パンフレット「学校図書館の蔵書を増やす」  
全国学校図書館協議会・学校図書館整備推進会議 2006)

#### 学校図書館図書標準

平成5年に策定された公立義務教育諸学校の学校図書館の図書の整備の目標。

平成17年度末現在の全国の達成状況は、小学校37.8パーセント、中学校32.4パーセントとなっている。文部科学省の計画では、前回に引き続き、今回の新整備5ヵ年計画によってこの図書標準の達成を目指す、としている。

## 子ども読書ア・ラ・カルト

子どもの読書活動優秀実践図書館・団体（者）文部科学大臣表彰

4月23日の「子ども読書の日」に東京において表彰式が行われました。

北海道からは図書館の部に栗山町図書館、八雲町立図書館の2館、団体の部に伊達市の「きつつきの会」、根室市の「一休さん」の2団体が表彰されました。

○ 根室から表彰式に出席しました

小学校の新入生の親子を対象にした「親子読書会」により発足した「一休さん」は、発会20周年の記念すべき年を迎えるとともに重なって飛び込んできた今回の受賞に沸き立ち、世話役の市立図書館の司書と共に1泊2日の強行日程で表彰式に駆けつけました。

表彰式会場では、今は親元を離れている子どももお祝いで駆けつけるなど、読書を通して培った親子の絆の強さが改めて感じられたそうです。

現在の「一休さん」の活動は、読書会から市立図書館のボランティアとして、あるいは他の親子読書会の良き先輩として、なおも活発に活動を続けてきているということですが、表彰式から根室にたどり着いたのは夜の10時を過ぎていたそうですが、会員の強い結束とボランティア・パワーには圧倒されます。

## 子ども読書ア・ラ・カルト

各地ではじまっています

平成19年度「子どもゆめ基金」を活用した読書イベントの開催について

「子どもゆめ基金」は、子ども読書年を契機に創設され、政府による出資と民間寄付を基金に21世紀を担う夢を持った子どもの健全な育成の一層の推進を図ることを目的に、ボランティア団体などの民間団体の活動支援を行う基金です。

現在、北海道においても、平成19年度の助成を受けた団体が各地域においてさまざまな活動に活用しています。平成20年度の助成については、9月頃から募集が始められます。

管内	団体名	活動名
十勝	十勝子どもの本連絡会	十勝子ども本連絡会 25周年記念事業
	未夢の会	未夢 2007 あきやま ただし 絵本ライブ
空知	砂川アップルガーデン実行委員会	第5回砂川アップルガーデン読み語りフェスティバル
網走	クリオネ・グループ	「だいじょうぶの心」プロジェクト
網走	育児サークル「おこっぺヒヨッコクラブ」	あきやまただし 絵本ライブ
石狩	当別こども図書館 友の会	より深い読書へ誘う in 当別こども図書館
後志	黒松内町情報館友の会	黒松内町情報館友の会活動
後志	読み聞かせの会「ぐりとぐら」	本となかよし「ふれあいシアターinくっちゃん」
	おはなし なあに	たくさんのおはなしの世界を子供たちに

<以下札幌市>

(札幌)	アンビシャス!チャレンジ!クラブ北海道本部	アカシヤおはなし会
(札幌)	絵本の森実行委員会	第2回 子どもの本のつどい・絵本カーニバル
(札幌)	札幌地区子どもの本連絡会	札幌地区子どもの本のつどい講演会とフォーラム
(札幌)	財団法人 札幌市青少年女性活動協会	読み語り推進事業(読み語り入門講座とグループ活動支援)
(札幌)	絵本コミュニティKURABU	絵本コミュニティKURABU 2007
(札幌)	特定非営利活動法人 ちゃお	ちゃおのファンタジーの世界へようこそ
(札幌)	株式会社北海道新聞社(「絵本ワールド2007」チーム)	絵本ワールド2007

子どもゆめ基金については、次のHPをご覧ください。参考：<http://yumekikin.niye.go.jp/>





八雲町図書館

---

## 北読進協だより 第14号

発行年月日 平成19年6月26日

編集・発行 北海道読書推進運動協議会事務局

〒069-0834 江別市文京台東町4-1番地

北海道立図書館業務部市町村支援課内

TEL 011-386-8521

FAX 011-388-2063 (業務部直通)

---